

実践例：小学校「特別の教科 道徳」

群馬県教育委員会



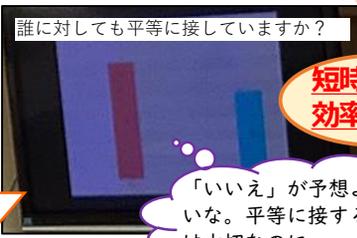
ICT活用の場面及び機能とよさをチェック!

単位時間の学習例：第6学年「C 公正、公平、社会正義」

1. 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。
めあて：誰に対しても平等に接するためにはどうしたらよいか。

□ **提示・配布機能**

児童の道徳的価値に対する実態について、アンケート調査の結果を掲示し、問題意識をもたせる。



短時間で！
効率的に！

「いいえ」が予想より多いな。平等に接することは大切なのに・・・

2. 教科書の教材文の範読を聞く。
友達のうちわさを「それはちがう。」と言えなかった主人公。そのうちわさ話によって仲間外れになる友達・・・

3. 教材を通して道徳的価値についての考えをもち、交流する。

あなただったら「ちがう」と言える？



立場によって色分けしたテキストを選ばせ、提出させる。



瞬時に！
全員の！

全員の考えを比較・共有し、多様な考えに触れさせる。

□ **一覧表示機能**

中心発問
(ある日の帰りの会で「うわさで人を判断してはいけない。」と発言する級友の姿を見て) 主人公はどんな気持ちから「言わなければ」と思ったのでしょうか。



全体やグループで話し合う。

何もできなかった自分がはずかしい。

みんなの前で発言して友達を助けよう。

補助発問で本音を引き出しながら、道徳的価値についての考えに広がりをもたせたり、深めさせたりする。
難しくないの？本当にできるのかな？

言った方がいいけど、やっぱり少し怖いから言えないかも。

難しいかもしれないけど、見て見ぬふりはよくないと思う。

4. 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。

5. 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。

□ **撮影・録音・再生機能**

本時の振り返りを端末に入力させたり、ワークシートを撮影して提出させたりする。



いつでも！
手軽に！

すぐに！
その場で！

□ **データの保存・提出機能**

【児童の振り返りより】
自分の考えをしっかりとって周りに流されないことが大切。今までは怖くてできなかったけど、これからは仲間外れやよくないことが起きていたら、勇気をもって注意していきたい。